

**NEWS RELEASE**

平成 19 年 6 月 27 日

**電通、第 54 回「カンヌ国際広告祭 (CANNES LIONS 2007)」の  
メディア部門で金賞を受賞**

第 54 回「カンヌ国際広告祭 (CANNES LIONS 2007)」が、6 月 17 日から 23 日、フランスの  
カンヌで開催された。同広告祭において、電通制作の「バブルへGO!!×日立へGO!!キャンペ  
ーン (広告主：株式会社 日立製作所/日立アプライアンス 株式会社)」がメディア部門  
の 2 つのカテゴリーでそれぞれ金賞と銅賞を受賞した。また、「コミック小学館ブックス  
(広告主：株式会社 小学館)」がメディア部門とサイバー部門でそれぞれ銀賞を受賞した。

また、電通はメディア部門において入賞作品数の多い代理店を対象とする「メディア・エ  
ージェンシー・オブ・ザ・イヤー」部門<sup>(注1)</sup>で第 2 位を獲得した。

この他、28 歳以下のクリエイターを対象とした「ヤング・クリエイティブ・コンペティショ  
ン<sup>(注2)</sup>」のサイバー部門で、日本代表チームが銀賞を受賞した。(ヤング・クリエイティ  
ブ・コンペティションは、国別の代表チームで競われ、今回の日本代表チームには電通のク  
リエーターが選出されている。)

カンヌ広告祭は、カンヌ国際映画祭の一部として劇場広告映画のコンクールからスタートし、  
1954 年からは独立して開催されている。規模の大きさ、審査員構成、入賞作品のレベルの高  
さなどから、数ある国際広告賞の中でも特に高い評価を得ている。

今年は計 80 カ国から 25,660 のエントリーがあり、メディア部門のエントリー数は 1,661、  
サイバー部門は 2,711 であった。この他に、フィルム、プレス、アウトドア、ダイレクト、  
ラジオ、プロモ、チタニウム&インテグレイテッドの 7 部門がある。

注 1：メディア部門で、ショートリスト以上の賞を受賞した広告作品に対して与えられた点数  
を代理店別に合計し、合計点数の高い順から順位を決定。

注 2：1995 年から始まったカンヌ国際広告祭でのスペシャルイベントとして注目される催し。  
国別代表チーム (28 歳以下のクリエイター) が出場し、現地において出題された同一課題  
に対して規定時間以内に作品を提出し、競われるクリエイティブコンペティション。  
今年度のサイバー部門の課題テーマは国際人道機関である Right to Play が提唱する「遊  
ぶ権利・・・スポーツと平和」、参加国数は 27 ヶ国であった。

## ■メディア部門

金賞 (カテゴリー: その他の商品)

銅賞 (カテゴリー: 複合的なメディアの使い方)

<作品クレジット>

広告主: 株式会社 日立製作所 / 日立アプライアンス 株式会社

商品名: ドラム式洗濯乾燥機 ビッグドラム

作品名: バブルへGO!! × 日立へGO!! キャンペーン

シニア・ストラテジスト: 菊地哲哉 きくちてつや

プロデューサー: 蔵本憲昭 くらもとのりあき

プロデューサー/ストラテジスト: 仁科昌平 にしなしょうへい

コミュニケーションデザイナー: 後藤光彦 ごとうみつひこ

ストラテジスト: 赤羽秀 あかはねしゅう、田村勇氣 たむらゆうき

アカウントエグゼクティブ: 中村正樹 なかむらまさき、西野俊之 にしのとしゆき

プランナー: 高見憲 たかみけん、古田水穂 ふるたみずほ

## ■メディア部門 銀賞 (カテゴリー: 出版&メディア)

サイバー部門 銀賞 (カテゴリー: モバイル広告)

<作品クレジット>

広告主: 株式会社 小学館

商品名: コミック小学館ボックス

作品名: コミック小学館ボックス

CD/プランナー: 大岩直人 おおいわなおと

コピーライター: 中島聡 なかじまさとし、北川健司 きたがわけんじ

AD: 螺澤裕次郎 かいざわゆうじろう

プロデューサー: 山口浩司 やまぐちこうじ

アカウントプランナー: 中村暢明 なかむらのぶあき

アカウントエグゼクティブ: 岡崎誠 おかざきまこと、松田宜子 まつだたかこ

作会社: 葵プロモーション、blanc

## ■ヤング・クリエイティブ・コンペティション / サイバー部門 銀賞

<日本代表>

テクニカル・ディレクター: 中村洋基 なかむらひろき (電通)

Webデザイナー: 鎌田貴史 かまたたかし (.SPFDESIGN)